

アメリカザリガニ繁殖阻止ツールの開発

NPO 法人シナイモツゴ郷の会 長谷川政智・久保田龍二・
根元信一・高橋清孝

現在、アメリカザリガニの駆除が各地で行われており、捕獲具にはアナゴカゴ、カニ籠、網もんどりが一般に使われている。これらトラップでは、中に餌を入れて捕獲するが、アメリカザリガニが餌に誘引されトラップに入るまで時間が必要となる。また、駆除圧を高めるためには、多くのトラップが必要となり、そのトラップの設置や回収に大きな労力も必要となる。駆除現場では少ない労力で多くのアメリカザリガニを捕獲することが求められた。シナイモツゴ郷の会では、効率的な捕獲方法と装置や器具の開発に取り組み、連続捕獲装置の小型化やプラスチック製の定置網、杉の枝葉を使ったしばづけの代わりとしてのり網を使った（人工藻）しばづけを考案した。

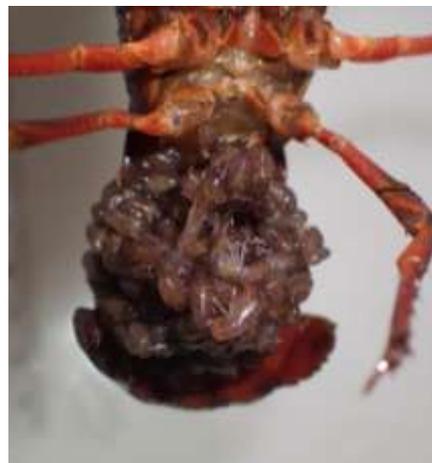
材料と方法

1 小型連続捕獲装置

従来の連続捕獲装置を小型化し自動給餌器を収納する容器を小型化することで土台も小型化することができた。

2 プラスチック製定置網

侵入個体を阻止・捕獲するため当初、市販の小型定置網を使用した。しかし、動物に網が壊されることが度々起こったことからプラスチック製の定置網を開発した。侵入個体には稚ザリを抱いた雌個体が捕獲される。親から離れた稚ザリを逃がさないため、底には網目 1 mm のネットを取り付けた。



3-1 杉の枝葉を使ったしばづけ

餌の誘引による捕獲法では、大型個体が優先して捕獲され、大型個体を減少させた後で小型個体が捕獲される。駆除当初から大型個体と小型個体を同時に駆除することで駆除効果を高められるだろう。特にトラップで捕獲しにくい小型個体が出現する時期に多くの小型個体を捕獲できた。

3-2 養殖のり用のり網を使った人工藻（しばづけ）

のり網を使った人工藻による捕獲数は、杉の枝葉を使ったしばづけよりも平均捕獲数が多かった。劣化がほとんどなく2シーズンは使用できることも分かった。水を吸収し重くなるが入手のしやすさと劣化がほとんどないことから数を多く設置することで多くの個体を捕獲できることが期待される。また、アメリカザリガニが減少したため池ではヤゴ類が隠れ場所として利用していた。トンボ類の復元にも利用できるのではないだろうか。

